



アズマヒキガエル号



ご挨拶

日頃 ふるさと侍従川に親しむ会の活動に対して、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。

お蔭様で発足より15年が過ぎ、「子ども達が再び遊べる川に」を合言葉にクリーンアップ、植栽等、楽しみながら活動をしてまいりました。

全長、2km程の小さな川ですが、ゴミも以前に比べて、ずいぶん少なくなり、最近では生き物の姿も多く見られ、四季折々に楽しめる様になりました。

これも流域の皆さんや学校のご協力と、子どもから高齢の会員の地味な活動が実を結んだものと思っています。

これから10年、20年とこの活動が地域に根付き、会の名前のとおり、ふるさとの侍従川になっていくことを願っております。

会長 相川澄夫



2008年元旦
侍従川の注ぐ平潟湾からのぞむ初日の出
撮影) 山田(陽)

アズマヒキガエル

分類：両生類 無尾目 ヒキガエル科

学名：*Bufo japonicus formosus*

分布：日本（近畿以東の本州、山陰地方。伊豆大島、佐渡島、北海道には人為移入）

体長：90～150mm

ニホンヒキガエルの東北日本産亜種（あしゆ）、さまざまな環境にすみ、低地から標高2,500メートル以上にまでいる。昼間は岩の下などにひそみ、夜や雨上がりによく活動する。おもに小昆虫を食べる。2～7月の繁殖期に多数のオスがメスを取り合う「蛙合戦」をする。長いひも状の卵塊（らんかい）を流れのない水域に産む。卵は合計2,500～8,000個。

Yahoo!キッズ図鑑より

地域研修

横浜金澤碑七福神めぐり

1月5日(日) グリーントフ(GT)とふるさと侍従川に親しむ会が共催で37名が参加

出席者 天内 一杉 小林 斉藤 松田 須田 松本 水城 番場 高砂
 村田(秀) 井上 片山 菅原 鹿子木 今井 平田 高橋(以上GT)
 村田(章) 八木場 長橋 徳丸 山田 角田 竹内 古寺 鈴木 金野
 高橋 外山 橋本(康) 橋本(品) 高橋(修) 家族4名 岡(以上侍従会)

今年の新年を祈願し、グリーントフ恒例行事である七福神めぐりが行われました。昨年平成19年の金澤七福神めぐりは天候不良のため中止となり、今年度に順延されました。

今年は肌寒い天気ですが、快晴に近い天気のもと、37名の皆様の参加で京浜急行の富岡駅を起点にスタート致しました。別の団体のスタンプラリーともぶつかり、正月の初めということもありすごい賑わいでした。

最初は、直木賞の直木三十五の菩提寺でもある長生寺(布袋)で、本堂横でご朱印の受付から七福神めぐりが始まりました。今回のこのコース近隣に鎌倉を控え史蹟の地として、又歌川広重が浮世絵で描いた金沢八景の地としても知られております。

続いて富岡八幡宮へ。約800年前に鎌倉幕府を開くにあたって、源頼朝が攝津の難波の西宮より恵比寿さまを勧請し、この地の守り神にしたのが始まりだそうです。

これよりコースの中でも1番長い距離の宝蔵院(寿老人)に向けて歩き出しました。休憩地点には長浜公園があり、野球場などのスポーツ施設のほか野鳥観察公園があります。むかし海だったこの場所は、水路でつながった汽水池、人工干潟、淡水池など配したバード・サンクチュリアがあります。ここで休憩時間を利用して双眼鏡でバードウォッチングを楽しみました。



今年は暖冬で渡り鳥の南下が遅れている中、アオサギ、コサギ、ダイサギ、カワウ、カワセミ、オオバン、ハシビロガモ、コガモ、オナガガモ、カルガモ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、ホシハジロ、キンクロハジロなどが見られました。

宝蔵院を經由し、昼食場所の称名寺（歌川広重：称名の晩鐘）へ、池にはオナガガモ、ヒドリガモ、アヒルがおりました。

昼食後記念撮影をし、休憩で元気を得た足で、の伝心寺（毘沙門天）へ向かいました。龍華寺（大黒天）では七草粥が振る舞われており（有料）人気で人だかりがしておりました。

琵琶島（歌川広重：瀬戸の秋月）源頼朝が開いた瀬戸神社（弁財天）經由し、ゴールの正法院（福祿寿）へ。本堂内でお汁粉、お茶が出てほっと致しました。

横浜市金沢区の北から南まで、歩行距離 12 キロを無事終了致しました。

皆様お疲れ様でした。今年が皆様にとって最良の一年でありますようにお祈りし金沢七福神めぐりの報告とさせていただきます。



記)岡



～侍従川冬の昆虫観察会～

1月6日(日) 源流の森を歩こう！！

1月6日今年度初めての行事「冬の昆虫観察会」が行われました。当日は朝9時に寒い中冷たい手をさすりながら参加者の皆さんは大道小学校グラウンドに集合しました。

みんな揃ったところでまずリーダーの佐野君、山田さんから挨拶とルールの説明があり、午前9時30分 約30名(小学生、父母の方など)で目的地の十二所果樹園を目指し出発。

途中朝夷奈切り通し付近にて小学生チームの男の子がオオカマキリ、アリジゴク、ツヤアオカメムシを次々と発見！！

「こんな真冬に野外でオオカマキリを見られるなんてスゴいなあ～」と参加者のみんなは驚いていました。

次に切り通しの中間地点の三郎の滝付近から佐野君の案内で雑木林へ向かい、そこでシジミチョウの仲間の卵をいくつか発見し、彼からみんなに解説をしてもらいました。

大人の方々も興味深げに彼の話に耳を傾けていました。
その後も同じ場所でクヌギカメムシの成虫と卵を発見。

観察会も中盤にさしかかり、果樹園で昼食を摂りました。

子供達は寒さにも負けず、昼食後も大学生のお兄さん二人と元気に相撲をとったり鬼ごっこをしていました。



そして終盤、熊野神社にて RGEEA の木村さんと合流し、朽木の中で生活する生き物について解説をして頂きました。

木村さんのお話ではこの時期は本来捕食するかされるかの関係にあるムカデ、ダンゴムシが朽木の中で寄り添いあって冬眠している姿を見せて頂きました。

虫たちの寝ている姿はとても面白く、普段害虫として恐れられているムカデも愛らしく見えました。

最後は山を下り、締めくくりは朝比奈の山の麓にある侍従川の源流での水生昆虫の観察。

小学生チーム総出で冷たい川の水に手を突っ込んだり、石をどかしたりしてミルンヤンマ、カワトンボ、オニヤンマなど様々な種類の昆虫を採り、子供達はとても満足しているようでした。

ゴールの大道小までの帰り道は侍従川本流沿いを歩き、ヒドリガモ、マガモなどの鳥類を橋の上から観察し、午後3時小学校に到着しました。

1月初旬ということもあり、どの程度の数の昆虫に出会うことができるのか正直心配でしたが、注意深く観察してみると、意外と多くの昆虫に出会うことができ、寒い季節の中でも彼らはじっと春の訪れを待っているのだと感じた1日でした。

取材「リサイクルデザイン」(横浜市資源リサイクル事業協同組合)

記) 熊井

【活動報告その3】

～ 1月クリーンアップ～

1月27日(日) 於：大道橋～長島橋

参加者：大人9名、小学生7名

川の清掃をした後、昨年解体した葦船の大チョリソを、甲殻類のモニタリング用として、下流域に沈めました。

記) 山田(陽)





ネイチャークラフト教室 ~つるでガゴ作り~

【活動報告その4】

1月19日(土) 於:朝比奈の森、大道コミュニティハウス

朝比奈の

自作の

つるでガゴを作りました

採ったつるは、グルグル巻きにしてひもでしる



枯れてしまっ
て、ポキンと
折れるつるは
ダメ

山で拾った
棒に、つるを
通して運ぶ



お口のガゴや伊

ちやうどひといき

カゴ、製作中。
最初は太目のつるを
十文字にします

ターザンだー



つるに乗って
ブランコを
した人も!



作品と一緒に
記念撮影

出来上がり!!



記) 山田(隆)

第4回 エコフォーラム

2月23日(土) 於：戸塚公会堂

午前中：小中学生達の発表 午後：ワークショップ(展示)。

侍従会は、ワークショップに参加しました。侍従会のテーマは、“侍従川のたから物”です。生き物やタマゴを展示、そして冬眠から目覚めたヒバカリ、侍従会の展示はやっぱり『タッチスネーク』今回の展示の中でもやっぱりいちば〜ん!でした。

記) 竹内



~ 2月クリーンアップ~

2月24日(日) 於：大道中学校内 大道溪谷&大道橋~ちとせ園

参加者：長野、中山、徳丸、蒲谷、村田、八木場、角田、細川、外川、竹内、河本(み)、関(た)、関(ひ)、伊作、金子、河本(と)、松本純秘書、星野、山田

昨年、大道中学校のホタルが減った原因に、溪谷の上部を藪が覆いホタルの飛翔空間が少なくなったからと思われる。

そこで、今回は大道中学校の許可を得て、藪を伐採することにした。また、幼虫が上陸して蛹化する前に行う必要があるため、2月を選んだ。

作業：藪化した樹木の伐採

伐採した樹木：キブシ、ヤツデ、アオキ、シロダモなど

伐採した樹木は徳丸さんの軽トラ2配分 県営跡地に持っていった。

大道橋からちとせ園まで川の中をゴミ拾いしながら進む。

皆さま、お疲れ様でした。

記) 山田(陽)



葦船づくり～葦船学校～

1月21日(月)～2月17日(日) 於：大道小学校

今年も侍従川の葦を使った葦船づくり～葦船学校～が開かれました。
 (主催：横浜市立大道小学校 共催：ふるさと侍従川に親しむ会)

1 / 2 1 (月)

大道小学校5年生による侍従川の葦刈り
 泥牛橋近辺の葦を刈りました。
 侍従会参加者：中山、徳丸、山田
 お疲れ様でした。



1 / 2 6 (土)

葦船「夢の大道っ子丸」解船式
 バラした葦は、

大チョリソ(一つ分)は六浦中学校脇のオダトープ(漁礁&水鳥の休息場)

大道小学校の田んぼの肥料

葦船「小栗判官横浜丸」の小チョリソヘリサイクル

へと、それぞれ利用されました。

1 / 2 7 (日)

侍従川定例クリーンアップでの葦刈り

...の予定でしたが、葦はそれまでに全て刈られてありませんでした。

2 / 2 (土)

葦の選定&束づくり

小チョリソづくりをやりやすくするために刈った葦を、長さ別に揃えて束をつくり直します(1束5kgで)

同日に横浜市まち普請助成第2次コンテストがあり、侍従会からは少数の参加となってしまいました。

2 / 3 (日)

葦の選定&束づくりの予定でしたが、
 降雪のため中止

2 / 1 0 (日)

番外編...葦船職人の助さんが帷子川に葦刈りに
 行きました。帷子水辺塾の作業でした。



2 / 16 (土)

部品づくり(小チョリソ、大チョリソ、らせん巻き)

大道小学校の生徒に保護者、PTA、職員に侍従会スタッフや侍従会の子どもたちが参加。50人以上集まり、葦船職人の助さんの指導のもと部品づくりが進みました。



2 / 17 (日)

葦船建造&完成式

この日は、横浜の水辺と緑を考える子ども会議実行委員会のメンバーも参加。鶴見区二つ池の葦を持って来る。

来年は、横浜開港150周年。来年に照準を合わせた、鶴見&帷子川と侍従川とのコラボなのかと思わせる...来年は横浜市中の川の葦を集めて「国際・横浜丸」の建造?

今回はざっと見て80人ぐらい集まり、大盛況でした。途中、らせん巻きのロープが切れるアクシデントが何度かありましたが...

完成した葦船は全長6.5m、幅1.5mという巨大なもの。昨年、建造した「照手姫」より一回り以上大きな船になりました。



皆さん、大変お疲れ様でした。

取材には、

「食農教育」(農文協)

「JCN横浜」(ケーブルテレビ)

「横浜金沢市民テレビ」(インターネット放送局)

「My Town 金沢八景」(タウン誌)

が来ました。

葦船乗船会は4 / 13(日)です。

皆さん、ぜひお越し下さい。

記) 山田(陽)



侍従川生き物図鑑 No.1



~ショウジョウトンボ~

侍従川ではふつうに見られるトンボで、全身が見事なまでに真っ赤な色をしています。

童謡“あかとんぼ”で歌われているアキアカネとは全く別の種類です。流域では中流又はその周辺の池などで見ることができます。

体長：4センチ

見られる時期；4月～10月

監修)熊井

佐野真吾が語る侍従会の思い出 ~初侍従会~

僕が初めて侍従会に参加したのは今から約13年前のことです。その当時僕はまだ小学校1年生。近所に住んでいる友達のお母さんが、「真吾くんは虫が好きだからいっしょにどうですか？」と誘ってくださり参加したのが始まりでした。

イベントに参加して驚いたのは、まるで町を挙げておこなっているような賑やかさです。幼稚園や小学校の遠足や発表会で必ず来てくれるカメラ屋さんの相川さんが川でゴミ掃除！？（後から知った！実は侍従会会長だった！）先頭で指揮をとる虫に詳しくな先生！（今思うと尾上先生）自転車に乗りながら、川に入っている人たちに指示を出すおじさん！（今思うと長野副会長）そして体格がよく大きなモクズガニのに入ったバケツを片手に子どもたちと話すお兄さん！（当時の山田さん）まるでお祭りのような会でした。

イベントが終了した後、僕は大きなモクズガニを持っていた体格のいいお兄さん（山田さん）に、今日自分の採った生き物を見てもらうことにしました。「ん~~ギンブナに、モツゴに、メダカに、チチブに・・・ヒメゲンゴロウだねえ」お兄さんは僕の採った生き物をすぐに同定してくれました。すごい！そこで僕はお兄さんに、当時自分の憧れだった昆虫『タガメ』を飼ったことがありますか？と質問しました。するとお兄さんは「飼ってたけど死んじゃった。魚とかあげていたよ。」「！？・・・タガメを飼ったことがあるのか！すごい！！」これが山田さんとの初めての出会いでした！

その後僕は侍従会の会員になりましたが、積極的にイベントには参加せず、再び侍従会で活動を始めるのは5年後になってしまいました。

『佐野真吾が語る侍従会の思い出』 つづく



それゆけ

激突！山田くん 3年ぶりに復活か！



皆さん、お待たせしました！

3年ぶりに「それゆけ！山田くん」が帰ってきます！！ 乞うご期待！！

侍従川定例調査報告

1月27日(日) 晴れ

参加者：小学生1人、高校生2人、大学生1人、大人3人(計7人)

【汐見橋】(下流域) 13:51

気温：12.0 水温：7.8

Ph：6.5 COD：5 塩分濃度：1.4

生物：マガキ、コウロエンカワヒバリガイ、テナガエビ、チチブ(14)、
カルガモ(2)、オナガガモ(2)、ホシハジロ(2)、ユリカモメ(1)、
コサギ(1)

ゴミ：特になし

【長島橋】(中流域) 15:05

気温：8.0 水温：6.9

Ph：7.3 COD：10 塩分濃度：0

生物：ハグロトンボ幼虫(2)、ミゾレヌマエビ(1)、テナガエビ(8)、
メダカ(3)、ウキゴリ(1)、スミウキゴリ(5)、チチブ(14)

ゴミ：空き缶

【大道中学校】(源流域) 16:08

気温：3.0

水温：10.0

Ph：6.9 COD：10

塩分濃度：0

生物：カワニナ、
カワトンボ幼虫、
メダカ(7)、
ホトケドジョウ(10)

ゴミ：特になし



調査の様子

2 / 2 4 (日) 晴れ

中潮 満潮06:43(183cm) 18:53(172cm) 干潮00:35(24cm) 12:34(36cm)
参加者：小学生2人、中学生5人、高校生1人、大学生2人、大人1人(計11人)

【大道中学校内 大道溪谷】源流域 11:32

気温：13 水温：12 水の色：透明(一部、底がオレンジ色)

ph：7.5 COD：15 塩分濃度：0

生物：ホトケドジョウ(7)、メダカ(11)、ミズムシ(3)、
オオシオカラトンボ幼虫(1)、アカネ属幼虫(1)、カワニナ(2)

ゴミ：ボール、空き缶

備考：ホタル生息地の環境整備と一緒にいった

【汐見橋】下流域 13:55

気温：12 水温：11 水の色：透明

ph：8.0 COD：8 塩分濃度：1.8

生物：ユリカモメ(3)、ホシハジロ(2)(2)、チチブ、テナガエビ、
イソコツブムシ、フジツボsp、ウミニナ、コウロエンカワヒバリガイ、
マガキ、ウスヒラムシ

ゴミ：チーズかまぼこ、空き缶、プレイステーション(ゲーム機)

【諏訪橋】下流域 14:50

気温：9 水温：6 水深：20cm 水の色：透明

ph：8.5 COD：4 塩分濃度：0

生物：ハシブトガラス(2)、コサギ(1)、ヒドリガモ(2)(2)、
ハクセキレイ(1)、イソヒヨドリ(1)、テナガエビ(5)、チチブ(8)、
フジツボsp、コウロエンカワヒバリガイ、ボラ(死骸)→

ゴミ：空き缶、ビニール袋



【長島橋】中流域 15:12

気温：9 水温：9

水深：60cm

水の色：透明(若干、茶色)

ph：8 COD：5 塩分濃度：0

生物：ジョウビタキ(1)、ヒヨドリ(1)、カルガモ(2)、オナガガモ(1)、
メダカ(3)、チチブ(3)、テナガエビ(2)、ヤマサナエ幼虫(1)

ゴミ：空き缶(2)、ビニール袋(5)、カップラーメンの空き容器、
ポテトチップスの空き袋、ソーセージ

事務局だより

事務局運営委員 岡

今年、ふるさと侍従川に親しむ会は、創立15周年を迎えます。

創立以来、当会を支えていただいた諸先輩方の中には、故郷に戻られる事になり、また体調不良を理由に、事務局活動を卒業される方も見受けられる今日この頃です。

諸事情でしばらく会報も発行できずにおりました。

平成20年3月より、今までの事務局を、新たにジュニア会員のお父様・お母様（大人会員）方にご協力・ご参加頂き、事務局運営会議をリニューアルし立ち上げる事となりました。

今までご協力いただいた先輩方には、アドバイザーとして助言頂きながら、事務局運営委員の合議により、会の運営を計って参ります。

今後、長期に当会を支える事務局運営会議として、若い運営委員の方達のご参加をお待ちしております。

運営委員会にご興味ある方は、ご連絡お願い致します。

<今年度、事務局運営委員会の新たな取り組み>

1. 新規会員募集プロジェクトの立ち上げ
2. 会報（だぼはぜ通信）の定期発行
3. ホームページの充実
4. ジュニアリーダー養成講座の実施



ふるさと侍従川に親しむ会 事務局
金沢区六浦5 - 23 - 26
長橋 輝明
TEL&FAX : 781-4042
e-mail : jr-nagahashi@seaple.ne.jp

編集後記

今回から編集を担当させていただくことになりました。

お見苦しい点もあるかとは思いますが、会員みんなが楽しめる会報にしたいと思っています。どうぞよろしく申し上げますm(_ _)m

(MK)

番外編 夏のおもいで
(昨年編集していた幻の記事)



みんなで楽しみました 侍従川イカダづくり・イカダくだり

~もう一度昔のように子どもたちが遊べる川に~のスローガンを掲げた侍従会の夏の最大イベント。今年も侍従川イカダくだりのイベントが開かれました。参加者は、スタッフを含め70名を超え、たくさんのイカダがゴールの野島をめざして漕ぎ出しました。

8月4日(土) 自分たちのオリジナルのイカダづくりだ!! がんばろう



ここをこうやって、
そして次に・・・

イスを作っちゃおうよ。
父ちゃんファイト!



自分の乗るイカダを
決めよう。どれにしようかな。



大学生の威信に
かけても、しっかり作らねば。



色もぬりたいね。



オール・パドル
ならまかせて!

8月5日(日) さあ、侍従川を下って野島のゴールを目指して漕ぎ出そう！

